



2025

公益財団法人
綾傘鉾保存会
綾傘鉾後援会

<https://ayakasahoko.or.jp/>

Ayagasahoko 2025

綾傘鉾保存会 会員募集

京都が好きな人。祇園祭が好きな人。ぜひとも、綾傘鉾後援会にお入りください。既にご入会の方は、お友達をご紹介します。一緒に祇園祭綾傘鉾を盛り上げましょう。

年会費一万円で、毎年、素敵な扇子を進呈。さらに、青山期間(十四~十六日)後援会特別席(冷たい飲物付)にご招待。目の前で、棒振り囃子がお楽しみいただけます。

お申し込みはカンタン! お名前とご住所をファックスかメールで事務局までお知らせください。

事務局 / 〒600-8431

京都市下京区綾小路通室町西入ル善長寺町
135 番地 (大原神社内)

H P : <https://ayakasahoko.or.jp/>

Fax : 075-352-0258

info@ayakasahoko.com



令和七年度 祇園祭
綾傘鉾保存会



ご挨拶

残暑の候、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、私ども祇園祭綾傘鉾にご理解ご支援を賜り、心より篤く御礼申し上げます。

私たちは来年に向けさらなる努力と熱意でより魅力に溢れる祇園祭綾傘鉾にしていける所存です。どうか今後とも、綾傘鉾保存会にご支援賜りますようお願い申し上げます。ことにも、来年も皆様と一緒に祇園祭を迎えられることを願っております。

有難うございました。

令和七年十月吉日

役員

理事	寺田 進	理事	大嶋 博規
理事	佐藤 悦雄	理事	西澤 徹
理事	八木 透	理事	瀬川 敬也
理事	坂口 勝宏	理事	並河 透
理事	鵜澤 憲一	理事	岡村 誠悟
理事	八木 早麻里	理事	杉山 純平
理事	久保田 恵友	理事	濱田 時実
理事	松藤 輝		

発行 / 公益財団法人 綾傘鉾保存会

〒600-8431 京都市下京区綾小路通室町西入ル善長寺町 135 番地(大原神社内) <https://ayakasahoko.or.jp/>

デザイン / NPO 法人 クリエイター育成協会

KANSAI 感祭

大阪万博イベントの舞台へ



二月二十三日、大阪南港ATCホールにて開催された「KANSAI感祭 in OSAKA」に、綾傘鉾が出演しました。本イベントは二〇二五年大阪・関西万博を盛り上げるプレ企画として、関西広域連合等が主催するものです。

当日は、鉾の展示に加え、棒振り囃子の実演などが行われ、大阪の地でも綾傘鉾の魅力が存分に披露されました。祇園祭以外での展示としては、二〇二三年の神戸以来の機会となり、訪れた多くの来場者が足を止め、熱心に見学する姿が見られました。

記念式典

復興45年・財団5周年を祝して



令和六年九月十二日、京都のグランヴィアホテルにて「綾傘鉾復興45周年 記念式典ならびに財団設立5周年式典」が盛大に開催され、約三百名の関係者・後援会会員が出席しました。式典は、宮川町歌舞会による祝舞により華やかに幕を開け、棒振り囃子の披露によって祭りの力強い空気が会場に広がりました。綾傘鉾の未来に向けた思いを新たにす式典となりました。



令和七年綾傘鉾稚児

元気でかわいい稚児は、綾傘鉾の自慢です



稗 大晴
華頂短期大学附属幼稚園 年長組



塩見 啓吾
華頂短期大学附属幼稚園 年長組



勤息 義晨
華頂短期大学附属幼稚園 年長組



原田 怜介
安井幼稚園 年長組



川寄 悠弘
ノートルダム学院小学校 1年生



小島 悠生
京都市立太秦小学校 1年生

45周年事業



綾傘鉾復興45周年を記念し、祇園祭で巡柱が用いる一組の神面・癩見・飛出が新たに奉製されました。令和の時代を象徴する新たな神面として、今年の巡行より正式に使用されました。

また、綾傘鉾にとって欠かせない「傘」についても、次代への技術継承を目的として、これまで使用していた傘の新調いたします。

結納・社参

晴天のもと執り行われた稚児社参の儀



七月七日、八坂神社にて「綾傘鉾稚児結納の儀」ならびに「社参の儀」が執り行われました。常磐新殿では稚児父兄による口上とともに厳粛な結納の儀が進められ、その後、本殿にて八坂の神さまへ奉告する社参の儀へと移りました。

本殿では宮司より『宣状』が授与され、稚児六名が正式に神の使いとして祇園祭への奉仕を託されました。さらに、お千度の儀として本殿を三度回り、巡行の無事と町の安寧を祈念しました。



令和神面

新たな時代に刻む、令和の神面



綾傘鉾復興45周年を記念し、祇園祭で巡行が用いる神面「癒見べしめ」、「飛出（とびで）」の二組が新たに奉製されました。令和の時代を象徴する新たな神面として、今年の巡行より正式に使用されました。詳細は、パンフレットをご覧ください。



宵山・宵々山

晴天のもと執り行われた稚児社参の儀

十四日から十六日にかけては、朝九時頃から鉾建てが始まり、十時頃には大原神社や神社横のガレージにて授与品の授与が行われました。日が暮れると胸形提灯や綾傘鉾の提灯に明かりが灯り、通りは柔らかな光に包まれます。夕方からは学生ボランティアの皆さんも加わり、鉾横のラチで授与を手伝ってくれました。

若い力と熱気が加わり町内は一層の賑わいを見せました。巡行へとつながっていくことを実感する三日間となりました。



新体制の囃子方

棒振り囃子、新体制で継承の一步

今年の祇園祭では、綾傘鉾の棒振り囃子が新体制での初披露となりました。壬生六斎念仏講中の協力のもと新たな囃子方が結成され、宵山期間中や巡行本番でも、変わらぬ迫力と一体感で観客を魅了しました。

棒振り囃子は綾傘鉾の象徴とも言える存在。今後も技術と心を継承すべく、地道な練習と世代を超えた関わりの中で、大切に守り育ててまいります。



巡行

十年ぶりの雨の巡行。いざ、都大路へ



いよいよ迎えた 前祭巡行の朝

七月十七日、前祭山鉾巡行は雨天の中での開催となりました。
綾傘鉾では傘に合羽を被せるなどの対応を施し、棒振り囃子も予定通り実施。雨に濡れながらも力強く進む姿に、多くの沿道の方々から温かな声援が送られました。

巡行後の片付けは雨の影響で難航しましたが、町内や関係者の皆様の「尽力により、無事すべての行程を終えることができた。」
ご協力くださった皆様に心より御礼申し上げます。



QRコードより
ご視聴ください

Youtubeチャンネル
「スキマにイストリア」に
取材頂きました。

令和七年祇園祭では、神社前の夜間景観をより美しくするため、献灯提灯を増設いたしました。青山・青々山の夜には灯りが通りを柔らかに照らし、多くの見物客が足を止める幻想的な光景となりました。今回の増設は、多くの方々の協力によって実現したものであり、心より感謝申し上げます。



献灯提灯の増設

綾傘鉾を象徴する存在である「大傘」のうち、第一基で使用する大傘が破損している状態にありましたが、今年の巡行に向けて無事修繕を完了いたしました。

修繕には公益財団法人イオンワンバースントクラブ「ふるさと未来支援事業」からの助成を活用。綾傘鉾の命ともいえる大傘を、今後も大切に受け継いでまいります。



大傘の修繕